

Color Gallery

シリーズ

匠の化学

何事も自然とともに 吉岡幸雄

「日本の伝統色」については数多くの遺宝と文書が遺されている。それらの技法は、化学式や化学薬品が発明される以前より、人間が日々の営みのなかで試行錯誤を繰り返し、行われてきたもので、その成功例を今日まで使ってきたのである。18世紀のフランスの染師は、「偉大なる染師は、偉大なる化学者でなければならない」と言っている。自然は神仏に通じ、常に畏敬と畏怖を持っているかどうかということであろう。P620-621



源氏物語 玉鬘の帖「衣配り」



源氏物語 桐壺の帖「桐の襲」